

地域住宅計画推進協議会の解散にあたって

昭和 58 年に建設省（当時）の補助事業として創設された地域住宅計画は、今年度 30 周年を迎えることとなりました。この間、多くの地方公共団体において地域住宅計画が策定され、地域の住文化に根ざした、すまいづくり、まちづくりが実践されてきました。

地域住宅計画推進協議会は、平成 3 年 5 月 14 日の設立以来、この地域住宅計画の普及を目的として、多くの計画策定やその実現に対し様々な支援を行い、その成果を上げてきたところです。

こうした取組は地方分権、安心安全、人口減少、少子高齢社会、地球環境保全、健康志向、本物志向等の現代社会の要請を先取りしたものであり、その意味においても地域住宅計画における活動は幅広く評価されています。国土交通省の住宅政策においても地域住宅計画が推進してきた理念は社会資本整備総合交付金として現在も引き継がれています。すなわち、地域住宅計画の目指す「地域の住文化に根ざしたすまいづくり、まちづくり」は、現在の社会、特に我が国の住宅政策に普遍的な思想としてしっかりと根付いており、もはやこの地域住宅計画の理念は、我が国の、そして地域の住まいづくり、まちづくりにおける一般的な規範となっています。

これらを鑑みて、平成 25 年度総会（6 月 28 日開催）において、当協議会が地域住宅計画の普及に一定の役割を果たしたとの観点から、今年度の活動をもって解散することが議決されました。

当協議会の最後の活動となる「地域住宅計画全国シンポジウム 2013 豊田大会」を昨年 10 月 24・25 日に愛知県豊田市足助町で開催いたしましたところ、大勢の方々にご参加いただき誠にありがとうございました。大会においては、「第 8 回地域住宅計画賞」の授与とともに、これまで地域住宅計画の推進にご尽力いただいた方々に、感謝の意をこめて「功労賞」を授与させていただきました。また地域住宅計画（HOP E 計画）の 30 年の歩みや、多くの方々からのご寄稿等からなる『地域住宅計画 三十周年記念誌』を発行し、大会に参加いただいた方々などに配布いたしました。

地域住宅計画推進協議会は平成 26 年 3 月 31 日をもって解散いたしますが、地域住宅計画の推進にご尽力いただいた方々に、改めて感謝を申し上げますとともに、地域住宅計画の理念が、我が国の、そして地域の住まいづくり、まちづくりにおける規範として継承され発展することを期待いたします。

平成 26 年 3 月

地域住宅計画推進協議会
会長 太田 稔彦